

## 職員提案票

令和3年6月10日

所 属	提案者職氏名
企画振興部総合政策課	主幹兼企画調整係長 竹森昭治
1 提案事項 (タイトル) 25文字以内	庁内版出前講座制度の導入について
2 提案の背景・現状分析 (何が問題か)	
<p>現在実施されている各部署の取組みは、市政運営会議やグループウェアの掲示板等を通して、全職員へ情報共有が図られている。いわゆる上から下へ情報が下りてくる形は確立されているが、職員個人が他部署の取組みを知りたい場合に、下から上に情報を得に行く形がない。</p>	
3 提案の内容 (何をどうするか)	
<p>課内研修の一環として、他部署の取組みを理解する仕組みとして、庁内版の出前講座制度を導入する。当制度の導入については、現在課内研修として年2回以上実施している各職場の人権・同和研修のうちの1回を出前講座に変更等、現行の研修体制を改革することで、継続して実施できるとともに、職員の負担が増えることはないと考える。</p>	
4 実施することで期待される効果やメリット (結果的にどうなるか)	
<ul style="list-style-type: none"><li>・職員一人一人が他部署の取組みを理解することで、職員力の底上げが期待できる。</li><li>・出前講座をきっかけに、職員間の交流に繋がる。加えて、市長、副市長、または他部署の部長、次長等にも講師依頼を可能とすることで、普段話すきっかけが少ない職員との交流の機会になる。</li><li>・講師となる職員のプレゼンテーション能力の向上が図れる。</li><li>・講師側としても参考になるアイデアを得ることができかもしれない。</li><li>・部署を越えた業務連携のきっかけにもなる。</li><li>・他部署の職員や取組み内容を知ること、意欲的な人事異動の希望であったり、人事異動時の職員個人のメンタル的な不安の軽減につながる。</li><li>・継続的に実施することで、風通しの良い職場環境が期待できる。</li></ul>	

5 実施にあつて想定される問題点やリスク (実現するために必要なこと)

- ・講師となる職員の時間外手当
- ・事前調整が必要 (内容、進め方、時間など)
- ・出前講座の実績を全庁へ共有する場合、報告書の取りまとめ等の事務が増える。